SHOSAPO史

NPO法人生涯学習サポート兵庫

二〇一四年度 事業報告

四月

- 3/23〜4/3 ●主催 チャレンジウォーク2014 尼崎〜城崎までの170km徒歩縦断
- 4/13 ●2014年度ひめじ森のようちえんオープン
- 4/19〜4/20 ●主催 ココロザシプロジェクト 「失敗」から生まれるもの〜あなたがおもう先生とは〜
- 4/20 ●主催 チャレンジウォーク2014クロージングセミナー
- 4/29 ●SHOSAPOファミリーサンクスデイ

五月

- 5/18 ●Teacher's Bar 開催

六月

- 6/7 ●SHOSAPO正会員総会

七月

- 7/26〜7/27 ●主催 ココロザシプロジェクト 今、「イノチを考える授業」が必要なワケ。〜オリエンテーション〜

八月

- 7/1〜8/27 ●春のディキャンプフェスin姫路YMCA太子キャンプ場
- 8/3 ●主催 チャレンジアイランド2014 事前セミナー① 親子ワークショップと保護者説明会
- 8/7 ●主催 ココロザシプロジェクト 「アナタが「イノチ」を伝えるなら」〜ワークショップ〜
- 8/7 ●主催 チャレンジアイランド2014 事前セミナー② ライフセービング実習
- 8/11〜8/12 ●主催 チャレンジアイランド2014 事前セミナー③ 火おこし体験・テンティング実習
- 8/11〜8/12 ●神姫バスツアーズ株式会社とのコラボ企画 ロビンクラブ「春の宝島マリンキャンプ」
- 8/18〜8/20 ●主催 ぶんちゃか座 春のおでかけツアー2014 〜おっちょこ探検隊と海のバイキングマン〜
- 8/21〜8/29 ●主催 ココロザシプロジェクト 無人島で知る「イノチ」〜無人島一週間自給自足生活〜
- 8/22〜8/28 ●主催 無人島一週間自給自足生活 チャレンジアイランド2014

九月

- 9/3 ●チャレンジアイランド2014がTBS「Nスタ」番組内の特集コーナーにて放送される。
- 9/5 ●チャレンジアイランド2014がMBS毎日放送「VOICE（ヴォイス）」番組内の特集コーナーにて放送される。
- 9/7 ●ぶんちゃか座が「A1あそびうたグランプリ」に2年連続本選出場を果たす。
- 9/13 ●主催 チャレンジアイランド2014 クロージングセミナー 親子ワークショップ
- 9/13 ●主催 ココロザシプロジェクト 無人島の「イノチ」と日常の「イノチ」をつなぐ〜ワークショップ〜
- 9/14〜9/15 ●パパ応援プロジェクト パパと子のわくどきキャンプ
- 9/20〜9/21 ●主催 ココロザシプロジェクト イノチの大切さを次世代にどう伝えるのか

十月

- 10/25 ●博物館活用活性化プロジェクト企画 れきしフェスティバル第1弾 「再現！！官兵衛の刀」〜刀工高見國一が魅せる播磨の技〜

十一月

- 11/24 ●平成26年度「子どもと家族・若者応援団表彰」内閣府特命担当大臣官房受賞
- 11/24 ●博物館活用活性化プロジェクト企画 こうこはくゆるキャラワークショップ〜マスコットキャラクタープロジェクト〜始動
- 11/24 ●博物館活用活性化プロジェクト企画 れきはくへ行こう！あそび型考察行①〜けん玉名人からの挑戦状〜
- 11/29 ●Teacher's Bar 開催

ひめじ森のようちえん

2013年の６月のプレオープンにはじまり、10月本格的な定期運営を開始した「ひめじ森のようちえん」。今年度より姫路YMCA太子教育キャンプ場にて土曜日コースと日曜日コースを月に１回ずつ開設しました。

3-6歳のお子さんと保護者が一緒に訪れて、森を満喫。親子で「森じかん」を楽しんだ後は、親と子別々の時間を過ごします。参加メンバーが固定されると家族同士のコミュニケーションも生まれ、ふんわりやわらかい雰囲気が人気のプログラムです。

ナビゲーターは森林インストラクターのほねっこと、現役保育士のあいちゃん。二人のナビゲートが森での時間をよりすばらしい体験へと変えていきます。

チャレンジアイランド2014

毎年瀬戸内海の無人島「松島」で繰り広げられる１週間自給自足生活。今年度は45人の子どもたちが参加しました。今年度は8-9歳が12名！小さな体で頑張りぬきました。

今年のテーマは『たくましさ』。無人島では電気・ガス・水道のない自給自足生活をしながら、自分の役割を探す毎日…楽しいだけではない生活にホームシックになる子も続出しました。

終了後の子どもたちのアンケートからはやり遂げた自信に満ちあふれたコメントが多く、「親を頼ってばかりでなく、自分で判断できるようになった」「何事もあたりまえでないことがわかった」「災害時もこの経験を役立てたい」などと、それぞれ自分に感じる『たくましさ』が表現されていました。

そして…テレビ局２社が密着取材。MBS「voice」とTBS「Nスタ」でそれぞれ特集が組まれ、子どもたちの果敢な挑戦が紹介されました。

ココロザシプロジェクト

年に２回夏と冬に「先生」をめざす学生が集うココロザシプロジェクト。現役の先生から教育現場のリアルな話を聞くことができると評判のプログラムです。

夏のキーワードは「イノチ」。こどもたちにイノチの大切さをどう伝えるのか、どう伝えたいのかをいろんな観点から考え、自分の言葉にする難しさを痛感したようでした。

そして、冬のキーワードは「失敗」。失敗から学び、どんどん成長していく子どもたちを目の当たりにして、将来めざす先生像を考えました。

どちらのプログラムも『クラスビルディング』の現役教員たちが企画・運営。明日の教師を育てるためにチカラを尽くしてくれています。

キャンプKANSAI

キャンプ情報を専門に取り扱う「ポータルサイト」としての認識が高まった2014年。年間アクセス数は、2013年と比べ約5倍に増え、特に６月から９月末間でのアクセスは、１日平均150を超えるようになりました。登録団体も増加。12団体　計76本ものがキャンプ情報を掲載しました。それに伴いお問い合わせも増加。海外からの問い合わせもありました。11月に大阪で開催された「森のママまつり」では、活動をパネル展示にて紹介。今後も活動PRできるイベントには積極的に参加する予定です。

そして年度末には、新たに４団体が会員に仲間入り！ポータルサイト事務局としては、より充実したサイト運営とともに、専門的な視点でキャンプをおすすめする「キャンプコンシェルジュ」の導入も予定しています。

チャレンジウォーク2014

尼崎市魚釣り公園を出発し、豊岡市の城崎マリンワールドをめざす…兵庫県縦断コースの中でも最も長距離となる170kmに挑戦しました。スケジュール作成・リヤカー牽引・グループ分け等、子どもたちだけで決定。一丸となってゴールをめざしました。

チャレンジャーは31名。9〜16歳の男女が5台のリヤカーとともに尼崎を出発。道中、失敗や迷いを繰り返し進むうちに、チーム内での役割や自分の存在意義、仲間の温かさ、達成感を感じることができたようです。

今年は、はじめてテレビ局の取材が同行。MBSのクルーが一緒にゴールし、解散式までを取材してくれました。

さらに、今回から兵庫県警の協力をうけ道路交通法にも配慮。バトカーがリヤカーに伴走する姿はなんだかオオゴトでしたが、より安全で交通法規に留意したプログラムを敢行することができました。

十二月

12/21 ●西二階町ファミリー劇場 華市七福座

12/23 ●博物館活性化プロジェクト企画
れきはくへ行こう！あそび忍者修行②
～コマ回し名人からの挑戦状～

一月

1/11 ●元気ひょうご早寝早起き朝ごはんフォーラムにて
ぶんちゃか座ファミリーコンサート
おっちょこ忍者と3つの巻物
～たいようドロボウのイタズラ～を公演

1/17 ●クラスビルディング企画
「もしクラスにこんな先生がいたら」開催

1/25 ●博物館活性化プロジェクト企画
れきしフェスティバル第2弾
～ひめじチャンバラまつり～

●県立こどもの館コラボ「ふれあい体験ひろば」開催

1/30～2/3 ●奥大さんとよしえもんの絵本の早変わりSHOW

1/31 ●神姫バスツアーズ株式会社とのコラボ企画（全5回）
「ロビンクラブスキー教室」

二月

2/1 ●西二階町ファミリー劇場 華市七福座

2/7 ●Teacher's Bar 開催

2/8 ●博物館活性化プロジェクト企画考古博物館イベント
～ほったんと考古博7つの不思議～

2/11 ●博物館活用活性化プロジェクト企画
れきはくへ行こう！あそび忍者修行③
～昔あそび名人からの挑戦状～

●県立こどもの館コラボ「ふれあい体験ひろば」開催

2/14～2/15 ●主催 ぶんちゃか座冬のおでかけツアー2015
～おっちょこ探検隊と時の王子ヨナーユ～

2/21 ●主催 先生になる人のためのココロザシプロジェクト①
ワークショップ

●博物館活用活性化プロジェクト企画
れきはくへ行こう！あそび忍者修行③
～昔あそび名人からの挑戦状～

2/24～2/26 ●主催 先生になる人のためのココロザシプロジェクト②
小豆島1周ウォーク

三月

3/8 ●主催 チャレンジウォーク2015 事前セミナー①
親子ワークショップ・説明会

●主催 先生になる人のためのココロザシプロジェクト③
ワークショップ

3/14 ●主催 チャレンジウォーク2015 事前セミナー②

●ぶんちゃか座ファミリーコンサート 花の北市民広場
Presents by はりまキッズランド
おっちょこ忍者と3つの巻物～たいようドロボウのイタズラ～

3/15 ●考古博物館イベント「考古博であそぼう」にて
マスコットキャラクター「ほったん」お披露目

3/21～3/22 ●主催 チャレンジウォーク2015 事前セミナー③
チームビルドトレーニング

3/27～4/4 ●主催 先生になる人のためのココロザシプロジェクト④
ワークショップ

3/28～4/4 ●主催 チャレンジウォーク2015
高砂～城崎までの150km徒歩縦断

年間通じて

《青少年指導者育成事業》

●SHOSAPOボランタリーグループの運営

●チームカラフル 障がい児キャンプの企画や指導

●ゆめぱーく 兵庫県青少年本部 子どもの冒険広場事業

●ハイティーンの里 高校生ボランティア育成プロジェクト

《子育て団体等中間支援事業》

●ひめじ森のようちえん 全23回

●ひょうごこども応援ファンド「かっぱのゆめ 貯金箱」の運営

●広域保育園乳幼児子育て応援事業 全20回

●ひょうごボランタリー基金助成事業 中間支援活動助成

※2014年度実施の主要プログラムを掲載

SHOSAPOの旅は
2015年度へ続く…

兵庫県立こどもの館「ふれあい体験ひろば」

兵庫県立こどもの館との協働事業「ふれあい体験ひろば」。高校生や特別支援学校生がこどもの館で保育体験や販売補助などを通じて社会性を養うことを目的として、はじまりました。

初回より高校生が20名参加。障がい者施設のスタッフとも積極的にかかわり、販売に協力。クッキーやドーナツ、雑貨などの販売を体験しました。また高校生たちは、ゆるキャラ「はばタン」としても大活躍。子どもたちとの撮影会に大忙しでした。参加した高校生の中には保育関連の進路を希望している子が多く、こどもの館を訪れるお子さんにも声をかける姿もみられました。今後は子育て中の人も、子育ての悩みや喜びを共有できる居場所としても展開していく予定です。

ぶんちゃか座おでかけツアー

ファミリーコンサートでおなじみの「ぶんちゃか座」がキャンプをプロデュース。ストーリー性の高いキャンプを実施することで、子どもたち一人一人が主人公となってさまざまなミッションにチャレンジします。

今年は夏ツアー69名、冬ツアー35名が参加。5歳児の参加も見られ、にぎやかなツアーとなりました。

夏開催の海ツアーでは「バイキングマン」が出没。雪山ツアーでは「時の王子ヨナーユ」探し…奇想天外なキャラクターの出現と、オチが気になるストーリー展開に、毎回スタッフも注目しています。

ぶんちゃか座ファミリーコンサート「おっちょこ忍者と3つの巻物」

今年度、ファミリーコンサートは2回開催。

1回目は、1/11「早寝早起き朝ごはん」兵庫県フォーラム実行委員会（兵庫県教育委員会社会教育課）主催、国立淡路少年交流の家・SHOSAPO共催で実施した「すくすくひょうご『元気ひょうご!!早ね早おき朝ごはんフォーラム』」にて公演。申込受付開始後2日で満員御礼にてキャンセル待ち続出！！「ぶんちゃか座」のファミリーコンサートの人気を見せつける結果となりました。

内容はもちろんオリジナル。フォーラムの主旨に沿って子どもの生活リズムの向上、生活習慣についての意識高揚を目的としたストーリーを展開しました。会場では、大人も子どもも一緒に歌い、踊って、帰るころには満面の笑顔。アンケートの満足度も高評価でした。

ファミリーコンサートは、はりまキッズランドと共催で3月にも実施。約100組の親子が参加しました。「子どもと楽しい時間が過ごせてよかった！絶妙な掛け合いが最高！」「子どもがステージにあがれて、楽しそうに踊っていたのがうれしかった」など、感想もたくさんよせられました。

博物館活用活性化プロジェクト

兵庫県立考古博物館と兵庫県立歴史博物館をもっともっと活性化させようとSHOSAPOが一念発起！通称「博活プロジェクト」として新スタッフを大募集。たくさんの新スタッフを迎えて県立2施設に乗り込みました。年間を通して新スタッフだけでなく、SHOSAPO全員体制でのぞみました。

兵庫県立考古博物館では、考古博や開催イベントにまつわるトレジャーカードを22種もつくりました。子どもたちに大人気！5000枚以上配布しました。また、地元の高校生やママさんたちとワークショップを行い、考古博物館のゆるキャラ「ほったん」を考案しました。等身大ほったんを見た時は、感無量でした。ほったんの今後の活躍にも期待です。

兵庫県立歴史博物館では、「ひめじチャンバラまつり」と銘打ってNPO法人ゼロワンとのコラボ企画のれきしフェスティバルを行いました。即日満員御礼でした。また、あそび忍者修行として、歴史博物館を舞台に昔あそび名人によるイベントを開催しました。博物館ゆかりの「商店街マップ」もつくりました。

このほかにもいろんなイベントを実施、SHOSAPOが得意とする親子世代に施設の魅力をアピールしました。特に歴史博物館は姫路市民でも知らない人が多く、イベントを通して認知度を上げることができました。

とにかくたくさんの制作物をのこしたこの事業。

つくったグッズは日本手拭い2種、クリアファイル2種、フライヤー1種、缶バッチ7種、スタンプ4種。チラシにいたっては10種を軽く超える…本当ににぎやかなプロジェクトでした。

ひとやすみ…